

F-45 デルファイ方式による未来生活の予測(その4 住生活)

生活指標研究所 山本秘代 宇川和子 香藤道香 前川当子

海津美代子・武田満す 八倉巻知子(助言者八度雄一郎)

目的 本調査研究の目的は、生活指標の基礎資料をうることであり、このためにデルファイ方式により生活全般に対する未来像の予測を行うことである。

本調査研究は、生活そのものに対してであるが、住生活については、特に、住宅の構築の方法、内部構造の向題、使用エネルギーの向題、および環境関係に対する予測を主とする。

方法 本調査研究は衣、食、住、児童、教育、家族、家族経済—経営および統計調査等の専門家により構成されたチームによって検討案出された生活予測のための88項目に対し、アンケート調査により、斯界の指導的立場の方々の忌憚ない意見を収集し、その結果を分析検討するものである。なお、デルファイ方式に従い、今後さらに同一内容のアンケートをくり返して、回答者の意見を収れんさせる予定である。

結果 本アンケート調査は、本年6月21日—7月20日の間に行われ、発送票数408に対し256票の回答を得た。そのうち住生活関係専門家による回答は21票であった。この専門家による回答と総平均的回答結果との比較、また、さらに年齢別による回答結果との比較等により、その差異を探索したが、詳細は紙面の都合上省略する。